

大陸への玄関口、唐津の魅力を韓国に紹介 ～ホ・ヨンマン画伯による唐津市取材～

ソウル事務所

クリアソウル事務所では、韓国の人気漫画家で食通でもあるホ・ヨンマン画伯を日本の各地に招いて取材していただくことで、韓国において日本各地の様々な魅力を紹介する事業を行っています。

今回は、2012年11月4日(日)～11月7日(水)の日程で実施した佐賀県唐津市の取材の様子について報告します。

1. 唐津の自然

唐津は玄界灘に面しており、美しい海と山に恵まれています。取材では、日本の滝百選に選ばれている見帰りの滝、日本三大松原の一つといわれる虹の松原、虹の松原の美しさが一望できる鏡山、玄界灘に臨み海中展望塔で海中の景色も楽しむことができる波戸岬等、唐津の自然の素晴らしさを満喫してもらいながら取材をすすめることができました。



見帰りの滝を取材するホ・ヨンマン画伯

2. 唐津の食

海の幸、山の幸に恵まれた唐津には、魅力溢れる食材が豊富であり、この食材を活かした、多様で美味しい料理があります。今回の日程では、呼子のイカ活き造り、鯉のあらい、ぼたん鍋、佐賀牛のしゃぶしゃぶ、サザエの壺焼き等、唐津ならではの美味しい料理を韓国の方に知ってもらおうべく、食通ホ・ヨンマン画伯に味わっていただきながら取材しました。韓国側取材スタッフ全員に非常に満足していただき、ホ・ヨンマン画伯も熱心にスケッチをとりながら取材をしておられました。



イカの活き造り調理を見学するホ・ヨンマン画伯と取材陣

3. 唐津の歴史と文化

唐津独特の薫り高い文化も取材しました。あいにくの雨天にもかかわらず、熱く盛り上がった唐津の代表のお祭り、「唐津くんち」の曳山町廻り取材。当日は一般家庭を訪問させていただき、お祭り期間中に一般家庭で振る舞われる豪華なおもてなし料理である「くんち料理」も味わっていただきました。



熱狂の唐津くんち

また、古代から大陸への玄関口であった唐津は、朝鮮半島との結びつきがとても深い場所です。朝鮮半島の製陶技術と縁が深いといわれている唐津焼については、有名な窯を訪ねて、製造工程や作品について説明をしていただきました。また、秀吉の朝鮮出兵の拠点として建てられた名護屋城跡や、百済の王で日本の天皇家とも縁の深い武寧王生誕の地といわれる加唐島（かからしま）等にも訪問し、朝鮮半島との古くからの強い繋がりを韓国側取材陣に取材していただきました。

4. 取材を振り返って

今回の取材においても、心からの歓迎をしていただいた訪問先の皆様や、唐津市観光課の担当の皆様のおかげで、非常に円滑に取材日程が進みました。おかげをもちまして、唐津の食・自然・歴史・文化のみならず、温かい情を取材団に深く味わってもらい、取材することができました。この場を借りて、御礼を申し上げます。



宿泊した旅館の主人、女将と一緒に写真撮影

なお、この取材記事は韓国の月刊旅行雑誌「旅行スケッチ」1月号に掲載されます。また、今までの日本各地取材記事を一定程度まとめ、来年度を目途に、単行本第2巻としても出版される予定です。

今後もクリアソウル事務所では様々なメディア等を通じて、韓国内で積極的に日本の魅力を発信していきます。

(中村所長補佐 静岡県派遣)

■韓国著名漫画家による日本の魅力発信事業（来年度も実施予定）

ご興味のある自治体は、こちらまでお問い合わせください。

担当：クリアソウル事務所 石塚

Mail : info@clair.or.kr

Tel : +82-2-733-5681